

3 学期始業式 校長講話

皆さん、おはようございます。

今年もよろしく願いいたします。

2 週間の冬休みを終え、各自が今年目標を立て良い表情をして 3 学期を迎えられることができ、嬉しい限りです。

本題に入る前に、能登半島地震から 1 年が経ちました。被災地の 1 日も早い復興と、被災された方の生活が 1 日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。そして、今年が穏やかで平和な 1 年となりますことを願っています。

それでは、本日は 2 点お話しします。

1 点目は、三が日の新聞記事から興味深い内容を紹介します。今までも何回となく、私はロボットや人工知能（A I）の話をしてきましたが、1 月 3 日の読売新聞の第 1 面に、「A I の発展がもたらす社会や暮らしの変化の予測」が掲載されていました。それによると、世界の A I 研究者への調査を基にした論文に、今後 1 0 年以内に、ロボットが洗濯物を人並みに畳む、お店の従業員がロボットに置き換わるといった変革が 5 0 % の確率で実現する可能性があるとのこと。更に、2 0 3 0 年代には A I 搭載のロボットが、一部の肉体労働も担い始めるとの見方が多いとのこと。

このように、既に A I が全ての世代の暮らしに溶け込み始め、A I によって私達の暮らしを支える存在になり、経済成長、医療の進歩などが期待される一方、従来の仕事が失われたり、軍事へ悪用されたり、負の影響もあるとのこと。

ぜひ、皆さんには A I の良い点と悪い点の双方を理解した上で活用することが大切です。また、A I は手段であって目的ではないと

ということも理解しておく必要もあります。それを理解した上で活用することが求められます。

次に、2点目は3学期の過ごし方についてです。

3学期は1年の4分の1の時間という短い時間の中ですが、進級・卒業に関わる大切な学期です。

まず、3年生の皆さん、皆さんにとって今学期は高校生活最後の学期であり、今月末からは家庭研修に入ります。一般受験者は来週末の大学入学共通テストを皮切りに、その後私大入試、国公立大2次試験と続きますが、これまでの努力が水泡に帰すことのないよう体調管理に万全を期してください。以前も申し上げましたが、現役は入試当日まで伸びます。「人事を尽くして天命を待つ」の心境に達することができるよう頑張ってください。ご健闘をお祈りします。

また、既に進路が決まった人は、新生活の準備を家庭研修中にしっかり行ってください。2学期の終業式でも申し上げましたが、大学等からの課題の他に、「プラス α 」の学習をして新たなステージを迎えてください。時間がとれるのはこの時期だけです。

そして、3月13日には3年生全員が厳粛で、感動的な卒業式を迎えられるようにしましょう。

次に、1年生と2年生へお話しします。

新年にあたり、皆さんには改めて日々の授業について確認してほしいと思います。

1点目のAIの話に関連しますが、社会の急速な変化に皆さんが主体的に向き合い、よりよい社会の創り手となるためには、知識・技能の上に立った、思考力、判断力、表現力や主体性をもって他者と協働して学ぶ態度を身につける必要があります。そのような力をつけるために、先生方は日々の授業が深い学びとなるよう、授業に

工夫を凝らし、それを評価するために小テストや定期考査を行い、その延長には大学入学共通テストに代表される入学試験があるわけです。

ぜひ、皆さんはこの点を意識して、日々の授業を大切にするとともに、総合的な探究の時間等を通し、答えのない課題に対して、他者と協働しながら目的に応じた納得解を見出したりする探究活動を通し、予測困難な社会において生きて働く力をつけてください。

結びに、今年の干支は蛇ですが、蛇は脱皮を繰り返しながら大きくなると言います。皆さんも昨年より一皮むけ、心身共に成長した姿を見せてくれることを期待するとともに、まもなく創立50周年を迎える我が校が「高いレベルの文武両道を実現する地域に誇れる進学校である」ということを一人一人が胸に刻み、ラストスパートの3学期を勉強でも部活動でも「やるべき事は全てやった」と、胸を張って次のステージを迎えられることを期待します。

今学期もどうぞよろしく申し上げます。